

仙台市立大沢小学校 学校だより



沢っこ

No. 5

<https://www.sendai-c.ed.jp/~oosawael/>

〈R5協働型学校評価〉
よりよく生活して、自分を高めよ
うとする児童を育成する。

令和5年7月20日発行



全校児童292名
(7月1日現在)

TEL 394-2224

有意義な夏休みを！

頑張って取り組んだ一学期前半も終わり、明日から35日間の夏休みが始まります。大きな事故もなく夏休みを迎えることができましたのも、保護者の皆様や地域の皆様、ボランティアの皆様など、多くの皆様の温かい目に支えられた賜物だと、感謝の気持ちでいっぱいです。ご支援いただき本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

夏休みは普段、学校ではできない様々な体験や活動ができる良い機会です。加えて、今年はプール開放や、図書室開放、土曜日図書室開放など、学校で楽しめる場所もありますのでご利用ください。親子や家族との触れ合いを大切に、有意義な楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。また、お子さんが安全な生活を送ることができるよう、自転車の乗り方や公園での遊び方について、十分ご配慮ください。夏休み明けの8月25日(金)に、元気に登校することを楽しみにしております。

みんなで盛り上げた「150周年記念沢小まつり」



7月15日(土)、子供たちが待ちに待っていた「150周年記念沢小まつり」を行いました。

3年生以上の子供たちも、みんなが楽しめるお店を目指し、それぞれに工夫を凝らし、楽しいお店を開きました。お客さんとして参加する子供たちは、「次はどこにしようかな。」と目をキラキラさせながらお店を回ったり、スタンプラリーですべてのお店を回ったりと、楽しんで回る姿がありました。お店を開く立場の子供たちは、各学級で一生懸命にお客さんを楽しませようと声を掛ける姿があちこちで見られました。

また、今年度は、児童のお店だけではなく、地域の方々、PTA本部や役員の皆様、保護者や地域のサポーターの皆様、児童館の先生方、中学生ボランティアの皆さんなど、約100名近くものボランティアの皆様にもお手伝いいただき、子供たちの楽しめるブースを提供いただいたり、活動を見守っていただいたりしました。多くのご支援をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、どの場所においても、「みんなのためにプラス1!」「進んでチャレンジ!」がたくさん感じられるすてきなお祭りになりました。子供たちにとっても、地域とのつながりが感じられる、150周年のお祝いにふさわしい、思い出の1日になりました。本当にありがとうございました。



夏休み中の学校閉庁日は8月10日(木)～16日(水)です。

※閉庁期間中は学校の電話はつながりません。緊急の連絡が必要になった際は、警察や消防、救急、医療機関や関係機関の相談窓口(裏面参照)に連絡ください。これ以外の緊急連絡については、仙台市教育委員会教職員課(214-8872・8873)にご連絡ください。

相 談 窓 口 一 覧

(令和4年4月1日現在)

	相談機関	相談電話	相談時間
1	24時間いじめ相談専用電話 (仙台市教育委員会)	0120-81-2455	24時間 365日
2	仙台市教育相談室 (仙台市教育委員会)	214-0002	平日9:00~17:00
3	いじめ相談受付メール (仙台市教育委員会)	soudan@city.sendai.jp	
4	仙台市いじめ等相談支援室 ^{エス ケット} S-KET (仙台市いじめ対策推進室)	0120-303-836	月・水 10:00~17:00 木・土 10:00~17:00 火・金 12:00~19:00
5	児童相談所電話相談 (仙台市児童相談所)	718-2580	平日8:30~17:00
6	親子こころの相談室 (仙台市児童相談所)	219-5220	平日8:30~17:00
7	ヤングテレホン相談 (仙台市子供相談支援センター)	0120-783-017	24時間 365日
8	子育て何でも電話相談 (仙台市子供相談支援センター)	216-1152	平日8:30~17:00
9	24時間子供SOSダイヤル (文部科学省)	0120-0-78310 <small>(はやみきあう)</small>	24時間 365日
10	子供の相談ダイヤル (宮城県総合教育センター)	784-3568	月・金 10:00~16:00 火・水・木 9:00~16:00
11	いじめ110番 (宮城県警察本部)	221-7867	平日8:30~17:15
12	少年サポートセンターせんだい (宮城県警察本部)	266-8655	平日8:30~17:15
13	子どもの人権110番 (仙台法務局)	0120-007-110	平日8:30~17:15
14	仙台いのちの電話 (社会福祉法人)	718-4343	24時間 365日
15	チャイルドライン (特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター)	0120-99-7777 (18歳までの子ども専用)	毎日 16:00~21:00

学校・家庭・地域で取り組む

協働型学校評価の目標について

本日、令和5年度の学校要覧を配付させていただきました。教育目標を「心豊かにたくましく進んで学び共に高め合う子供の育成」とし、「自分や友達を大切にし、相手を思いやることができる子」「心身ともに健康で、最後までやり抜く子」「主体的に学び、伝え合い、思考を深める子」「向上心を持ち、よりよい学校にしようと協力する子」を目指す子供の姿として、目標の達成を目指す取組を行っています。

令和5年度の学校・家庭・地域の三者が連携して取り組む「協働型学校評価」の到達目標を、子供たちの未来のために次のように設定しました。

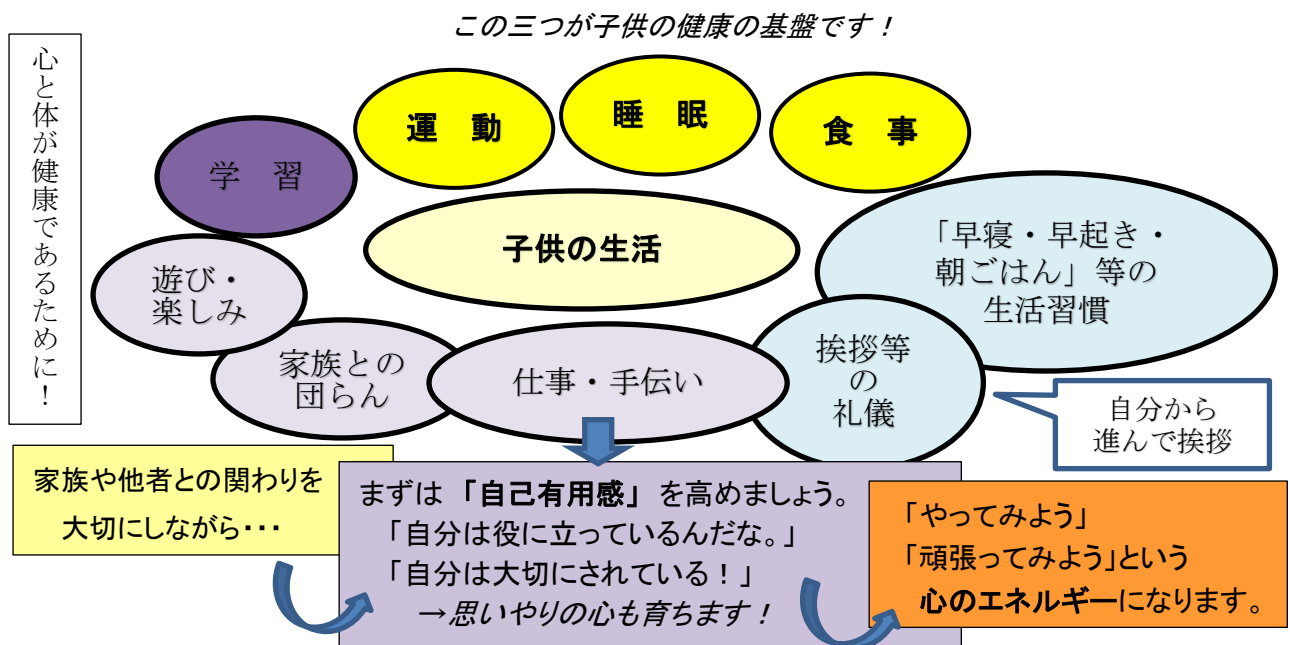
「協働型学校評価」の到達目標

「よりよく生活して、自分を高めようとする児童を育成する。」

子供が大きな成長を遂げるとき、そこに必ず「自分で考え、決めて、やり通す」という努力があります。大人から言われたからするのではなく、子供自身が「〇〇をしよう」と決めることで、自発的な行動が生まれます。大人の役割は、子供が「〇〇をしよう」と決められるように、スイッチを押すこと、決めたことをやり通せるように励ますことではないでしょうか。

非常に変化の激しい時代を生きていく子供たちが、自分の夢に向かって人生を切り開いていくとき、「心と体が健康であること」が一つの鍵となります。心身共に健康で、自分で目標を決め、達成するために努力することができれば、子供たちは大人の想像を超える成長を見せてくれることでしょう。

子供の生活の要素は様々ありますが・・・



【目指す子供の姿】

- ① 挨拶や時と場合による言葉遣いをしようとする。
- ② 「早寝、早起き、朝ご飯」を意識して、よりよく生活しようとする。
- ③ よりよく生活するために、自分の役割を果たそうとする。

今年度、**ご家庭で取り組んでいただきたいことは、次の三つ**です。

その1 **進んで挨拶！きれいな言葉遣い！まずは大人がお手本です。**

保護者の皆様もご存じのとおり、進んで挨拶ができること、時と場に応じた礼儀や言葉遣いを身に付けていることは、将来の社会生活において他者との良好な関係を築く糧となります。

学校でも家庭でもまずは大人が手本です。そして、自分から挨拶したときには、これもまた褒めてあげてください。(人間は「どうして〇〇できないんだ」と叱られたときより、「〇〇できてえらいね」と褒められたときの方が、その行動は定着しやすいと科学的に証明されているそうですよ。)

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」「すみません」「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶が、自分から進んでできるよう大人が導いていきましょう。あわせて、社会で活躍するとき生きる、きれいな言葉遣いを身に付けさせましょう。



その2 **自分の生活リズムについて考え、規則正しく生活しようとする意欲を高めましょう！**

「しっかり睡眠をとること」「バランスの良い食事を取ること」「運動すること」、この三つは、子供が健康に生活し、目標に向かって努力する基盤になります。

徐々に制限が少ない生活にはなってきましたが、依然として、オンラインでゲームをしたり、タブレット等で動画を見たりして過ごす時間が長くなっている子供が多い状況は続いています。それに伴い、睡眠が十分に取れていない、朝に起きられず朝ごはんを食べてこない、授業に集中できない(または眠くてぼんやりする)、やる気が起きないなど、様々な弊害が現れています。



脳の成長が活発な子供の時期は、しっかりと睡眠を取ることがとても大切です。一般的には、小学生の場合、8～10時間のまとまった睡眠が必要と言われています。また、メディア利用の長時間の利用も子供の脳の発達に悪影響があることが分かってきました。

夏休みはお子さんが自分の生活について考える良い機会になります。お子さんと話し合ってください、より良く生活するために「ゲームをしたり、動画を見たりする時間(1時間以内が理想です)」「寝る時刻」「起きる時刻」などを決めて、規則正しい生活が送れるようサポートをお願いします。思春期に入ると大人の言葉は子供の心に届きにくくなるものです。そうなる前に、ルールを守ってメディアを利用できるようにしておくことが大切です。

メディアに触れる時間を減らした分、親子で読書、親子で運動、家族での団らの時間にするなど、ご家庭で工夫していただければと思います。



その2 **手伝いの内容を決め、できたら褒める！**

学校では、「みんなのためにプラス1！」を合い言葉に、「明るく楽しい学校にするためには？」と子供たちに考えさせ、実行し、振り返らせる時間を設けていきます。

ご家庭では、ぜひ「家族の一員として、どの仕事を担当するか」をお子さんと話し合い、手伝いの内容を決めていただきたいと思います。そして、大切なのは「できたら褒める！」です。やって当たり前ではなく、決めたことを行えたときには、「助かった。ありがとう！」と認めてあげてください。

お子さんの生活が、より豊かに充実したものになり、目標に向かって努力しようというやる気を持って、自分を高めていけるようご家庭でのご協力をお願いいたします。